

V 今月の 新刊紹介

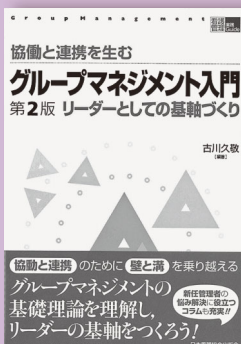


ミッションマネジメント 対話と信頼による 価値共創型の組織づくり

著：武村雪絵
発行：医学書院
定価：2600 円＋税

『看護管理』
の連載から
生まれた本

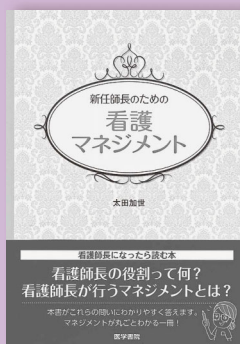
組織を構成する「人」の価値観が多様化し続ける中で、管理者として組織を動かしていくにはどうしたらよいだろうか。対話によるミッションの共有、スタッフと組織の内なる力を引き出すエンパワメントを軸に組織活性化のためのアプローチを考察した、これからの看護管理を支えるマネジメント論。



協働と連携を生む グループマネジメント入門 第2版 リーダーとしての基軸づくり

編著：古川久敬
発行：日本看護協会出版会
定価：2700 円＋税

主任、リーダーといった職場の管理者としてグループをマネジメントしていく際に必要となる基礎知識や理論を丁寧に解説したリファレンスブック。グループの協働と連携を支え成長を促し、管理者としての基軸を固め、自らも成長するという役割拡大の際に手元に置いておきたい1冊。



新任師長のための 看護マネジメント

著：太田加世
発行：医学書院
定価：2300 円＋税

『看護管理』
の連載から
生まれた本

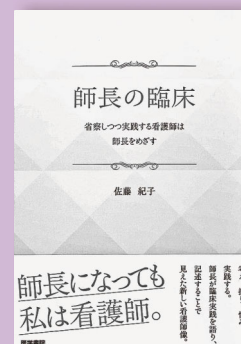
部署を取りまとめる看護師長に求められるマネジメント、その多岐にわたる業務を分解し、求められる知識やスキルを丁寧に解説している。新たに看護師長を任された方が、本書を用いることで、全体における1つひとつの業務の位置づけ、意味づけを確認できる頼れるマネジメントの入門書。



「ユマニチュード」という革命 なぜ、このケアで認知症高齢者と 心が通うのか

著：イヴ・ジネスト／ロゼット・マレスコッティ
監訳：本田美和子
発行：誠文堂新光社
定価：1400 円＋税

認知症高齢者に対するケア技法であるユマニチュードが誕生するまで、そして根底にある思想・哲学を著者が経験した事例を交えながら記している。医療職として「ケアを行う」という行為の意味を見直し、その人がその人らしく生きることを支えることの真髄に触れることができる。

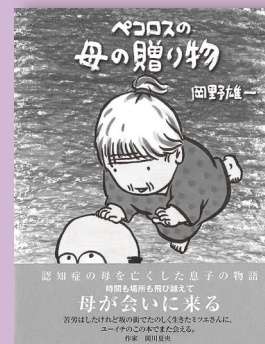


師長の臨床 省察しつつ実践する 看護師は師長をめざす

著：佐藤紀子
発行：医学書院
定価：2000 円＋税

『看護管理』
の連載から
生まれた本

ナラティブ、理論、文学などさまざまな角度から看護師長の実践を紐解いている。近年特に脚光を浴びている「組織の運営者」という役割と対比して、「卓越した実践者」として知を脈々と継承する役割を果たす看護師長の姿を言語化した先には、「いのちに働きかける」という看護の本質があった。



ペコロスの母の贈り物

著：岡野雄一
発行：朝日新聞出版
定価：1200 円＋税

認知症を発症した母親との触れ合い、亡くなった後にも著者の中に色濃く残る母親のエピソードを、昭和の郷愁とともに鮮やかに描いた連載漫画をまとめた。母親の認知症発症から他界した後にかけて、著者が生きる意味を再構築する過程が主観的視点で描かれた、共感が沸き起こる作品。